



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 平出吉範 幹事 山崎秀亮 会報委員長 本島清隆 第3067回 例会2025.6.12 No.1697



2024-25 年度 RI テーマ

THE MAGIC OF
ROTARY

ソング 君が代 我らの生業
 四つのテスト 職業・社会奉仕委員会
 会長談話 平出吉範会長

皆さんこんにちは。

「くぬぎの杜」での例会も今期最後となりました。残すところは 19 日の最終例会のみとなります。場所は「café tise」時間も 18 時 30 分点鐘となりますので、お間違いなくお越しください。よろしくお願い致します。

さて、関東甲信地方も 10 日に梅雨入りとなりました。平年より 3 日遅く、昨年より 11 日早い梅雨入りだそうです。梅雨の季節になりますと、私の家の周りでもホタルを見かけるようになりました。今、辰野町では「ほたる祭り」が開催されています。6 月 11 日現在、松尾峡下辰野側にて 4,268 匹の発生数だそうです。これから 2 週間程が見ごろと予想されます。

さて、最近伊那で見かけるホタルが、幼少期に見たホタルと光り方が違うと感じませんか？ ゲンジボタルは分子系統解析により、関東型と関西型の大きく 2 つの生態型に分けられています。関東型と関西型では発光間隔が異なり、それらの集団は約 500 万年前に分岐したことが分かっています。当初のホタルは天竜川上流域の関東型の天然のホタルで、県の天然記念物にも指定されていたのですが、諏訪湖の水質の悪化や護岸工事により激減したため、昭和 36 年に琵琶湖の業者からホタルを購入し、人口孵化と養殖を開始しています。

1961 年、62 年には 30 万から 40 万匹の幼虫を放流したとのことです。その結果、在来種のゲンジボタルは松尾峡では全滅したと言われています。ここで繁殖された関西型のゲンジボタルが今も下流域の在来種を駆逐していることは、事実として受け取らなければなりません。

1993 年に生物多様性条約が発効し、日本も条約を締結しています。条約の目的は

1. 生物の多様性の保全

2. 生物多様性の構成要素の持続可能な利用
3. 遺伝資源の利用から生ずる利益の公平で衡平な配分

となっています。1960 年代には美談とされた話も、1990 年代にはその内容を疑問視されています。

2020 年代はこれをどう考えて対応していくべきか、真剣に考えていかなければならないかと思うところです。

新しい価値観をもって現実に対応していかなければならないことは、環境保全だけでなく社会、組織においても同様であると考えています。

誕生祝

神山公秀 下枝正一 平澤泰斗
 唐木 章 藤本和寿



結婚記念日祝

藤澤洋二



在籍祝

荒木康雄(20) 唐木 拓(7) 城取健太(7)
 小松大介(6) 矢島 豪(6) 原 年弘(2)
 小松肇彦(2) 牧野由征(1) 工藤陽介(1)
 中村修哉(1)

幹事報告 山崎秀亮幹事

1. 6 月のロータリーレートは\$1=144 円です。
2. 地区事務所からのお知らせです。

- ① 木曽 RC より「木曽ユースロータリーサテライトクラブ」設立のご案内です。

RI 理事会認可日：2025 年 5 月 8 日

会員数：9 名

例会方式：リアルまたはオンラインにて月 2 回以上

- ② この度、次年度 R I 会長のデ・カマルゴ氏の辞任が発表となりました。

今後につきましては、RI 理事会が会合を開き、2025-26 年度の国際ロータリー会長について検討される事となります。新たな情報が入り

ましたらご連絡いたします。

3. 長野県伊那保健福祉事務所より、ダメ。ゼッタイ。普及運動の一環として開催される「6・26 ヤング街頭キャンペーン」のご案内です。
日 時 2025 年 6 月 28 日(土)
会 場 MEGA ドン・キホーテ UNY 伊那店

6 月のプログラム

- 5 日(木) 休会(規定による休会)
12 日(木) 次期委員会事業計画作成
※例会終了後、現・次期合同理事会
19 日(木) 最終例会・次期予算発表
(会場：カフェタイズ 時間：18:30)
26 日(木) 休会(規定による休会)

☆お知らせ

- ・入会希望者について
清水解体工業㈱
専務取締役 清水晃(しみずあきら)様
推薦者 唐木拓会員
異議のある方は、1 週間以内に事務局まで
お願いいたします。
- ・本日例会終了後、現・次期合同理事会を開催します。
65 期、66 期の役員・理事の方はご出席下さい。
- ・次回は 19 日(木)最終例会です。

理事会報告概要

1. 6 月のプログラム 2. 退会者について 3. 伊那中央 RC との合同例会について 4. 次年度 RLI 参加者について 5. 慶弔規定について

委員会報告 【ロータリーの友】6 月号紹介

ロータリー親睦活動月間 小林旬子副会長

横組み P7~13 今回の特集

は「ザ・ロータリー・ソングス」と題して、ロータリーソングの選定、そして日本のロータリーソングについて書かれています。1905 年 3 月、アメリカ・シカゴにロータリー



ークラブが誕生しました。その秋、食後の例会で退屈な仕事上の会話が続いた後、気を紛らわせようとしたラックルス(この人はロータリー第 5 番目の会員)が、「おい、みんなで歌おう!」と、椅子の上に立ち、指揮をしながら歌い始めました。その場に居合わせた 15 人の会員が皆で歌い始めたと言うことです。ロータリー

創設者のポール・ハリスは、最初は戸惑ったものの、歌うことがクラブに良い雰囲気をもたらし、気分をすっきりさせてくれると実感したとのこと。この際に歌われたのはロータリーソングではなく、当時アメリカでよく歌われていた一般の歌だったそうです。

日本初のロータリーソングは、1925 年 4 月に名古屋 RC の創立総会で歌われた「名古屋ロータリーの歌」と「ロータリー小唄」だったそうです。

1935 年に京都で行われた地区大会の選考を経て作られた曲が記録に残されており、それが現在も歌い継がれている「奉仕の理想」と「我等の生業」だと言われています。

しかしその後、日本は軍事色を強め、いろいろな制約の中で、1933 年には国家の方針に従うようになりました。その後、ロータリーは 1940 年に国際ロータリーを脱退し、そして 1949 年に再加盟。新しいロータリーソングを模索し、1952 年に大阪で開催された、地区大会で新しい曲が発表されました。それが「手に手つないで」であり、皆で手を取り合って歌う、戦後の日本にふさわしい曲として、今に歌い継がれているとのことです。

出席報告 会員数 52 名 内出席免除者 16 名
出席者 32 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 76.19%

ニコニコボックス

- ・荒木康雄 欠席が多くて申し訳ありません。
- ・鈴木正比古 本年度のニコニコ BOX は目標まであとわずかとなりました。最終例会では皆様のご協力をお願いいたします。

・在籍祝い

ラッキー賞

小林旬子 唐澤幸利
鈴木正比古 小松肇彦
本郷一博 荒木康雄
山崎秀亮



次期委員会事業計画作成

